

姉のワテケさんたちと楽しく過ごして、ワテケさんが帰って行ったあと、翌日、サダモさんは kotan sitcire mosir sitcire (村を焼き国を焼き) というユーカラを、ぜひ伝え残したいと言って吹き込んでくれた。まずふしをつけないで語り、さらにふしをつけて歌ってくれた(未刊)。それが終って、ほっとしたところで、最後に、次の自作の歌を吹き込んでくれた。

## 19. 自作の歌

### KOMPU SATKE MENOKO コンブ干し女

平賀サダ 1959年11月2日録音

yakun tane yúkar opitta kuye  
okere kusu orowano teeta  
kupon híne náa poyson kune  
híne kukor hápo enkay kane  
wa kompu uk hike pirka kompu  
rinuwe kor “ pis un cikap,  
kompu yanke wa enkore.  
rep un cikap kompu yanke wa  
enkore! ” sekor hawean hawe  
kunu wa kusu kukoykar wa tane  
konto sinotca ne kuye hawe ne.

hoskino kuye hike aynu itak,  
aynu itak ne kuye kusu ne.

それでは、今はもうユーカラをみな歌ってしまったから、昔私が小さいとき、まだ幼い子供だったときに、私のお母さんが私をおんぶしたまま昆布をとったのですが、よい昆布がたくさんあると、「浜の鳥よ、コンブを打ちあげておくれ、沖の鳥よ、コンブを打ちあげておくれ」と言っているのを聞いていたので、それを真似て今、こんど、歌にして歌います。

先に歌うのがアイヌ語、アイヌ語で歌いますよ。

- |                      |   |              |
|----------------------|---|--------------|
| 1. kuani pis ta kuan | 1 | 私は浜辺の        |
| kompu satke menoko   |   | コンブ干し女       |
| pirka pirka          | 2 | 良い良い         |
| tanto ka sirpirka    |   | 今日も天気が良い     |
| pirka pirka          | 3 | 良い良い         |
| pirka kompu kusatke. |   | 良いコンブを干してます。 |
| e wa inu yan         | 4 | 食べてごらんよ、     |
| pirka kompu rurihi.  |   | 良いコンブのだしを。   |
| rurihi pirka         | 5 | だしもよければ、     |
| kérahā ka pirka.     |   | 味もよい。        |
| pirka pirka          | 6 | 良い良い         |
| pirka kompu kusatke. |   | 良いコンブを干してます。 |

tan hike aynu itak ne. tap	これはアイヌ語です。今言ったも
kuye hike tap kuye hawe suy	のを、今言ったのをもう一度日本語
sísam itak ne kuye.	にして言います。

こんど一般のことばで、ただいま	今度は一般の言葉で、ただいまの
のなおします。	を直します。

あたし はまべの こんぶほし おんな  
 きよも よいよい おてんき よいよい  
 きよも よいよい よいこんぶ よくほせる  
 たべてみやんせ こんぶのだしを  
 だしもよければ あじもよい  
 きよも よいよい よいこんぶ よくほせる

- |                                |    |                |
|--------------------------------|----|----------------|
| 2. kuani pis ta kuan           | 7  | 私は浜辺の          |
| kompu satke menoko             |    | コンブ干し女         |
| pirka kompu takma              | 8  | 良いコンブの山が       |
| ripuni wa yan ko <sup>1)</sup> |    | 波に打ち上げられ岸にあがると |
| pirka kompu takma              | 9  | 良いコンブの山が       |
| ripuni wa hosipi.              |    | 寄ってはかえる.       |
| eani rep un cikap              | 10 | お前, 沖の鳥よ,      |
| kompu takma yanke.             |    | コンブの山をあげておくれ.  |
| yanke enkore <sup>2)</sup>     | 11 | あげておくれよ        |
| rep un cikap                   |    | 沖の鳥            |
| yanke enkore                   | 12 | あげておくれよ        |
| rep un cikap                   |    | 沖の鳥            |

わたし はまべの コンブほし おんな  
 なみに ゆられて コンブのやまは  
 なみに ゆられて またもどる  
 おきの ちどりよ コンブのやまを  
 あげて おくれよ おきちどり  
 あげて おくれよ なみちどり ...ちゃ

- |                                 |    |          |
|---------------------------------|----|----------|
| 3. kuani herokika <sup>3)</sup> | 13 | おれはニシン場の |
| yayeyyok okkayo                 |    | 雇われ男     |
| eani rep un cikap               | 14 | お前, 沖の鳥の |

---

1) rir-puni 《波が・上げる》, yan kor 《岸にあがる・と》. rir および kor の末尾の r が脱落している.  
 2) yanke wa enkore 《岸にあげてくれ》. リズムの関係で wa «...して》という助詞が省かれている.  
 3) heroki-kar 《にしん・作る》. 語末の r が脱落している.

ecis <sup>1)</sup> hawe kunu ko <sup>2)</sup>		鳴く声をきけば
kespa kespa	15	毎年毎年
kuyayeyyok		雇われて
tanpa ka kuyayeyyok	16	今年も雇われ
kuek wa kuan.		やって来た.
eani rep un cikap	17	お前, 沖の鳥よ
ecis hawe ennure.		鳴く声をきかせておくれ.
ennure enkore <sup>3)</sup>	18	きかせておくれよ
rep un cikap		沖の鳥
ecis hawe ennure	19	鳴いてきかせよ
rep un cikap		沖の鳥

(わたし にしんばの...) おれは にしんばの やというり おとこ  
おきの ちどりの なくこえ きけば  
やとい うるのは やめられぬ  
(また おきのち...) おきのちどりよ おまいのこえを  
ききたい ばかりに またきたぜ  
ないておくれよ なみちどり  
ないてきかせよ おきちどり

4. kuani kotan or wa	20	私は村から
iramante okkayo		狩りに来た男
kunneywa kuhopuni	21	朝早く起きて
kuekimne kor		山へ行くと

1) cis は《泣く》。鳥が鳴くことにはふつうは使わないが、ここでは人が泣くことになぞらえてこの語を使っている。

2) kunu kor 《聞くと》。語末の r が脱落している。

3) ennure wa enkore 《私に聞かせてくれ》。リズムの関係で, wa が省略されている。

sine situ tu situ ka	22	ひと山, ふた山
kuoika kuarpa.		越えて行く.
tanto ka sine kamuy	23	今日も1頭のクマを
kuko wa kusan. <sup>1)</sup>		持って来た.
hoyya hoyya sekor	24	ホイヤホイヤと
kuutari rimse		仲間がおどる
hoyya hoyya sekor	25	ホイヤホイヤと
kuani ka kurimse.		私もおどる.
hoyya hoyya sekor	26	ホイヤホイヤと
iyomante		熊祭り
hoyya hoyya sekor	27	ホイヤホイヤと
iyomante		熊祭り

おれは コタンの くまがりおとこ  
あさも はよから やまにゆく  
のこえ やまこえ (う)やまのおくで  
きよも でてきた くまさんが  
ホイヤ ホイヤと みなさん おどれ  
みなが おどれば おれも おどる  
ホイヤ ホイヤの くままつり  
ホイヤ ホイヤと くままつり

hoyya hoy	28	ホイヤー ホイ
[a] hessa o hoy	29	ヘッサ オー ホイ
[u] hessa o hoy	30	ヘッサ オー ホイ

1) クマをとって持ち帰ることは, ふつうに se wa san (1人称単数なら kuse wa kusan) 《背負って山を下る》または se wa iwak 《背負って帰る》というが, ここではなぜか kor wa san 《持って下る》と言っている. kor の語末の r がここでも落ちている.

[a] hoyya hoyya	31	ホイヤー ホイヤー
hoyya hoyya	32	ホイヤー ホイヤー
saa a saa o	33	サア アー サア オー
saa o saa o	34	サア オー サア オー
wenko hoyya ho hoy	35	いいぞ ホイヤー ホッ ホイ
hes	36	ヘシ

No. 18 Upopo (10) と同じく、サダモさんが、登別温泉で働いていたとき、宿舎(小屋)で時間のある時に、考えてこの歌を作ったといい、アイヌ語版と日本語版を同じメロディーにのせてうまく合わせるのに苦心したという。その後は舞台でもこの歌を歌って好評だったそうである。同じメロディーで、コンブ干し女、ニシン場男、クマ狩り男と、続けて歌っている。クマ狩り男の歌のあと、クマ祭りのときの輪舞の歌でしめくくっている。

#### [類歌]

サダモさんがこれと同じ歌を歌っているテープが、門別町教育委員会に保存されている [『沙流アイヌの歌謡』 Nos. 44, 45, 46 (7-6, 7, 8)].